

防災の啓発・情報発信拠点 静岡県地震防災センター

静岡県地震防災センターは、自主防災組織の活性化や、県民が東海地震に立ち向かうための知識や技術を習得するための教育啓発施設として平成元年4月に開館しました。

その後、阪神・淡路大震災や東日本大震災など、大規模な地震災害が発生し、また近年は、台風等の豪雨による河川災害や土砂災害が全国各地で頻発化、激甚化していることから、これらの災害の教訓や新たな知見を踏まえた改修を行い、令和2年6月にリニューアル・オープンしました。

地震・津波の展示を充実するとともに、風水害、火山災害の展示も新設し、防災について「知る 備える 行動する」の実践につながる体験をしています。

また、「ふじのくに防災学講座」などの地域防災力の向上につながる各種講座や演習を開催しているほか、アドバイザーによる出前講座、出張展示も実施しています。



お問い合わせ：静岡県地震防災センター
〒420-0042 静岡市葵区駒形通5丁目9番1号
電話番号：054-251-7100
<https://www.pref.shizuoka.in/bosaiinkinkyu/sonae/earthquake/bosaijcenter/index.html>
休館日 毎週月曜日・年末年始

(1) 地震・津波ゾーン

ふじのくに防災シアター

フルハイビジョン映像の大画面と音響により、静岡県の自然の恵みと、過去の自然災害の歴史を紹介します。映像を通して将来起こりうる災害の脅威を感じ取ることができます。



自助・共助の取組

家庭内対策と自主防災組織の取組等を展示しています。



地震体験コーナー

東日本大震災や阪神・淡路大震災、新潟県中越地震など6つの地震を3次元の揺れと映像で体験します。地震発生時の行動や備えの大切さを学ぶことができます。



避難所の運営

避難所運営上の課題と改善策等を展示しています。避難生活について理解を深めることができます。



(2) 風水害ゾーン

静岡県の地形と気象災害

静岡県の地形と気象災害について、映像、解説グラフィック、模型を組み合わせて紹介します。水流実験を行う模型では、河川が地形を浸食し、土砂を運搬して堆積させていく過程を観察することができます。



台風に備えよう

近年、頻発・激甚化する台風や豪雨から身を守るため、このコーナーでは、台風接近に伴う事前の備えと対応(マイ・タイムライン)について学べます。



(3) 火山災害ゾーン

火山噴火から身を守る

火山の噴火から身を守るために、日頃から火山について学び、自治体の火山防災マップなどで危険な場所や避難ルートを確認しておくことが大切です。山へ登る時の備えについて理解を深めることができます。



富士山プロジェクトンマッピング

富士山を中心とした立体模型の上に、プロジェクターで映像を投影し、富士山の火口や溶岩流の流れ等を分かりやすく観察できます。



デジタル地震防災センターの開設

遠隔地にお住まいなど、来館が難しい方にもインターネット上で自由に見学していただける「デジタル地震防災センター」を開設しました。

360度映像で館内展示物や解説パネル、原理実験装置をご覧いただき、VR(仮想現実)映像では地震・津波・風水害の災害を擬似体験することができます。

